



MGP32X/MGP24X ファームウェア アップデートガイド

ヤマハ製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。
このガイドでは、MGP32X/MGP24X本体のファームウェアをアップデートする手順を説明します。

■ ご注意(必ずお読みください)

- ・ アップデート作業は、お客様ご自身の責任において行なっていただきます。
- ・ アップデート作業中に本体の電源を切ったり、USBデバイスを取り外したり、このガイドに記載された手順と異なった操作をしたりすると、本体が故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ アップデート作業に失敗し、もう一度アップデート作業を実行しても本体が正しく動作しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ・ 本体ファームウェアとそのアップデートプログラムおよびガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このガイドの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このガイドに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合がありますので、ご了承ください。
- ・ 掲載されている会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

■ アップデートの準備

1. FAT32形式でフォーマット済みのUSBデバイスと、USB端子を装備したコンピューターを準備します。
2. ヤマハのプロオーディオサイトから最新のMGP32X/MGP24X本体ファームウェアをダウンロードします。(本アップデートガイドと同時にダウンロードした場合は不要です。)
<http://proaudio.yamaha.co.jp/downloads/>
3. フォーマット済みのUSBデバイスをコンピューターのUSB端子に挿入します。
4. ダウンロードしたファイルを解凍し、「mgp32_frm***」フォルダー(***はバージョン番号)にある「MGP32X_P.PGM」ファイルを(MGP24Xの場合も同じファイルを使用します)、USBデバイスのルートディレクトリーにコピーします。
5. コピーが完了したら、USBデバイスを取り外します。
USBデバイスの取り外し方法については、コンピューターやUSBデバイスの取扱説明書をご参照ください。

■ MGP32X/MGP24X本体のファームウェアのアップデート

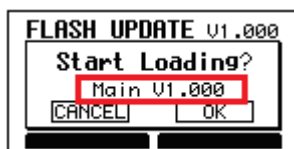
アップデートの所要時間は約15分です。

1. トップパネルのTAPボタンを押しながら電源を入れます。

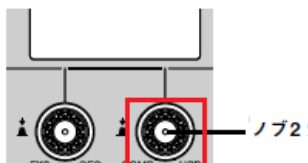
下記の画面が表示されます。



2. 「MGP32X_P.PGM」ファイルをルートディレクトリーにコピーしたUSBデバイスを、USB IN端子(🔌)に挿入します。
メインプログラムを検出すると、書き込みするプログラムのバージョンが表示された下記の画面が表示されます。

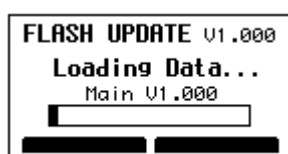


3. ノブ2を押して、メインプログラムの書き込みを開始します。

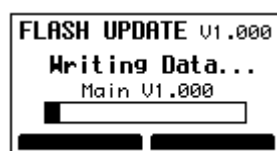


注意: プログラムデータの書き込み中は、USBデバイスを本体から取り外したり、本体の電源を切ったりしないでください。

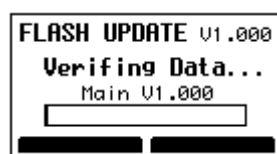
- ① USBデバイスからプログラムデータの読み出しが開始されると、下記の画面が表示されます(約10分)。



- ② 本体への書き込みが開始されると、下記の画面が表示されます(約1分)。

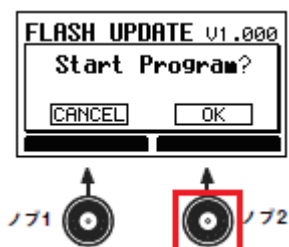


- ③ プログラムデータの検証が開始されると、下記の画面が表示されます。



4. プログラムデータの書き込みが完了すると、下記の画面が表示されますので、ノブ2を押して再起動を行ないます。

再起動の必要がなければ、そのまま電源を切ってください。

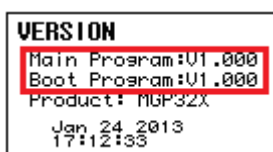


5. 必要に応じて、正しくアップデートされていることを確認します。

①通常に起動した状態で、トップパネルのFX1ボタン、GEQボタン、USBボタンを同時に押します。



②メインプログラムとブートプログラムのバージョンが表示されます。
メインプログラムのバージョンが、書き込んだバージョンと一致しているかどうかを確認してください。下記の画面はV1.0の例です。



以上でMGP32X/MGP24X本体ファームウェアのアップデート作業は完了しました。